

ゆのまえ 議会だより



No. **51**

令和7年
8月1日発行

「住民に見える議会」

「住民が参加しやすい議会」

「議会力・議員力の向上」を実現する

がまだす町議会



撮影日：令和7年3月

P2 **特集1** 新体制での議会活性化始まる

P3 **特集2** 住宅政策に関する提言書を町長へ提出

P4 **本会議** 物価高騰対応などの国支援

P8 **一般質問** 5人が執行部の考えを質す

P14 **議員派遣** 湯前ふるさと会総会

P16 **委員会** 防災備蓄品の現状

P18 **議会の窓** 球磨郡議長会会長就任の報告

P19 **一部事務組合** 特殊車両の更新

P20 **住民の声** 住宅政策に関する提言にあたって

今号の画像

昨年11月の改選から半年あまり。新体制となった町議会では、議会活性化に向けた取り組みが本格化しています。より開かれた議会をめざすため、議会活動の見直しや委員会活動の充実など、議員一人ひとりが精力的に取り組んでいます。

特集(2ページ)につづく・・・

特集1

新体制での議会活性化始まる

過去の改革を土台にさらなる前進

設置の目的と背景

湯前町議会は、議会基本条例第5条(6)および第24条に基づき、議会活性化特別委員会を設置しました。地方議会を取り巻く環境が大きく変化する中で、町民に信頼され、期待に応えられる議会を築くことを目的としています。

過去3度にわたり設置された「議会改革調査特別委員会」では、議員定数の検討や一般質問制度の見直し、議会基本条例の制定など、数多くの成果を挙げてきました。しかし、それでもなお、より柔軟かつ継続的に議会運営を見直す必要性が高まっていることから、新たな常設的委員会として再編されたものです。

委員会の構成と開催状況

委員長	吉田 精二
副委員長	森山 宏
委員	議長を除く全議員(7名)

回数	開催日	主な内容
第1回	令和7年3月14日	委員会設置・体制確認
第2回	令和7年4月23日	調査項目の協議
第3回	令和7年5月19日	意見の整理と優先順位付け

今後の取り組み

以下に示す調査項目から取り組みを始め、社会環境や経済情勢などの変化により新たに生じる町政の課題などにも適切かつ迅速に対応していきます。

主な調査項目	
○会議規則・申し合わせなどの規定の見直し	○町民・団体との意見交換・意見聴取の実施
○議会基本条例の検証方法・見直し	○本会議の放送のあり方・傍聴の推進
○関連質問の検証	○議会活動のルール・行動方針の策定
○議員のなり手不足対策	○政策提言の推進

特集 2

住宅政策に関する提言書を町長へ提出 企画経済建設常任委員会で調査

本町では、人口減少や少子高齢化が進み、老朽化した住宅や空き家の増加、民間賃貸住宅の不足など、住まいに関する課題が顕在化しています。これらの課題に対応するため、議会基本条例第17条に基づき、企画経済建設常任委員会において町の住宅政策全般の調査を行い、町長に対し提言書を提出しました。



金子議長(左) 西委員長(中) 長谷町長(右)

提言内容

提言 1 分譲地の有効活用

分譲地希望者のニーズにあった適正な区画設定などを検討し、できるだけ土地の有効活用を図ること。

提言 2 分譲地の早期販売と広報・販売戦略の強化

分譲地の早期整備・販売に努めること。また、販売においては誰もが取得しやすい価格設定を検討するとともに、広報・販売戦略を強化すること。

提言 3 公営住宅の長期計画の前倒し

耐用年数を相当経過している町営住宅が多く、用途廃止を検討すべきだが、単に建て替えを推進することは、既存入居者のことを鑑みれば困難なことが想定される。まずは、入居者の意向を踏まえながら、住み替えや建て替えを視野に入れた集約化計画を策定し、事業推進を図ること。

提言 4 住宅情報の一元化

移住定住を検討している方にとって、本町が移住地の検討対象となるためには、住居などの物件を探しやすくしておくことが必要である。公営住宅や分譲地、空き家情報などの住宅情報を一元化し、希望者が簡単に情報を入手できるような仕組みを検討すること。

本会議

物価高騰対応 などの国支援

7事業を補正予算に 盛り込む

6月定例会は、11日から17日まで7日間の日程で開かれました。議員5人が一般質問を行い、令和7年度補正予算、条例改正などを審議しました。人事案件では、教育長に栃原秀明氏の選任を同意しました。また、4月23日と5月19日には臨時議会を開いています。

補正予算

国の交付金活用で町民生活を後押し

物価高騰の支援事業

7026万円

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（2515万円）」と一般財源（2660万円）などを組み合わせ、暮らしや子育てを支える7つの支援事業を実施します。

特に、町民一人当たり5000円の生活応援給付金や、水道料金の10カ月分減免に加え、減税の効果が不十分だった世帯に対する「定額減税補足給付金」など、物価高騰の影響を幅広く緩和する実質的な支援が盛り込まれています。

【物価高騰対応事業の概要】 ※通信費・手数料は除く

支援分野	対象	支援内容	事業費
小中学生	保護者	教材費の学校直接支援 (小学生：学年別 中学生：一律2万5000円)	460万7000円
高校生	保護者	現金3万円を給付	270万円
未就学児	保護者	現金5000円を給付	60万円
LPガス	LPガス使用世帯	料金の一部を補助 (熊本県LPガス協会と協調)	400万円
水道料金	全町民町内事業者	基本料金1540円を 10カ月分減免	2311万円
生活応援	全町民	現金5000円を給付	1725万円
定額減税 補足給付金	減税額が不足する 世帯	減税後も負担が残る世帯に 対して差額を給付	1800万円

合計 7026万7000円

役場トイレ新設にむけて

庁舎トイレ及び多目的トイレ整備工事設計業務委託料 350万円

当初予算にて、3月定例会直前に不具合が発生し、詳細な積算が間に合わなかったため、概算で500万円を予算に盛り込んでいたものです。その後、設計内容の精査を行い、実際に必要となる費用を見直した結果、今回の補正により実行可能な金額として確定されました。

庁舎トイレは、職員のみならず来庁者も使用する施設であり、狭さやバリアフリー未対応など多くの課題を抱えていることから、早急な整備が求められてきました。

今後は、この設計業務の完了を受けて本格的な工事へと進む予定です。

湯前保育園調理室の改修

就学前教育・保育施設整備事業費補助金 3070万円

湯前保育園は、平成元年の開園以来使用されてきましたが、令和4年度に調理室の配管破損による漏水が発生し、応急対応を行ってきました。しかし、経年劣化が進んでいることから、本格的な改修工事として、床の衛生性向上や、単独浄化槽から合併浄化槽への更新も実施します。

この事業は令和6年度より国の補助事業へ申請しており、令和7年4月1日付で補助金の内示を受け、今回の補正予算に計上されました。



築35年が経過した調理室

財源は、国が2分の1、町が4分の1、残り4分の1を事業者が負担します。町の負担分には過疎債が充てられ、起債額の70%は交付税措置の対象となります。

医療の環境整備

更生医療給付事業扶助費 522万円

令和6年4月以降、公立多良木病院では、医師の不在が続いたため、更生医療の対象外施設となっていました。

令和7年度からは、医師が常駐する体制が整うことになり、再び更生医療の申請・利用が見込まれています。

財源は、国が2分の1、県が4分の1、町の負担は残る4分の1となっており、制度に基づく適正な財政措置がとられています。

教えてゆっくん 更生医療って何？

障がいのある人が長く治療を受けるときに、医療費の自己負担を減してくれる制度なのだ。



湯楽里設備の改修 観光施設消防システム等改修補助金 410万円

宿泊観光施設湯楽里において、防災設備と給水設備の老朽化により不具合が発生し、町は利用者の安全確保と施設運営上のリスク軽減を目的として、修繕への補助を行うこととしました。

これらの対応は、重大な支障が発生する前に設備を更新し、安全性を確保する予防的措置であり、町と湯楽里とのリスク分担表に基づき実施されます。



防災設備（宿直室）
マイクと制御基盤の故障で緊急放送が不可



給水ポンプ
圧力計と制御部の不具合、部品入手が困難

条例改正

災害時の対応力強化

湯前町水道事業給水条例の一部改正

湯前町下水道条例の一部改正

令和6年能登半島地震を受け、国からの技術的助言に基づき、二つの条例の一部が改正されました。

地震などの災害時には、配水管や排水管は復旧しても、宅内の設備が復旧できず、水や下水道が長期間使えない事例が報告されています。

今回の改正では、こうした非常時に限り、湯前町が指定していない他市町村の指定業者による復旧工事も可能とする例外規定を設けました。これにより、災害時の復旧をより迅速に行える体制が整備され、住民生活の早期安定につながる事が期待されます。

その他の議案

教育長の任命同意

新たな教育長を任命

中村富人教育長が、2期6年の任期を終え、6月30日で退任されることに伴い、新教育長の任命同意が提案されました。質疑後に無記名投票を行い、賛成8、反対1で栃原秀明氏を同意しました。

栃原教育長は、昭和56年より、主に人吉球磨地域の小・中学校に勤務後、平成19年から久米小学校校長、熊本県球磨教育事務所指導課長などを歴任。その後、平成29年3月に多良木中学校校長として定年退職されました。退職後は、学校教育アドバイザーや人権教育指導員などを務められています。



栃原秀明教育長

請願の受理

准看護学院への支援強化を求める請願

一般社団法人「人吉医師会」と「球磨郡医師会」連名による請願が、議員紹介により湯前町議会に提出されました。内容は、少子化と過疎化による入学希望者数の減少で、学院の運営が厳しさを増していることを背景に、全国平均に近づける形での補助金増額と、ふるさと納税による支援メニューの新設を求める内容です。

この請願は、球磨郡内10市町村すべてに提出されているもので、湯前町では西議員が紹介議員を務め、総務厚生文教常任委員会に付託されました。

今後、委員会で審査が行われ、採否が決定されます。

教えてゆっくん

請願って何？



「こうしてほしい！」という、みんなの声を町に届ける大切な仕組みなんだよ。

流れはこうなっているよ。



気になることがあったら、ぜひ議会に相談してみてね。

町民・団体など(請願者)

議員(紹介議員)が内容を確認

町議会に提出(請願書)

担当の委員会で内容を審査

議会で採決(全員で賛否を決定)

町へ正式に要望！

人権擁護委員への意見
推薦に差し支えなし

人権擁護委員法の規定に基づき、町議会に意見が求められ、いずれも推薦に差し支えないとする旨を答申しました。

対象となったのは、次の3名の方です。

- ・ 金山 充さん
- ・ 永濱 みどりさん
- ・ 農望田 綾さん

今後、町長から法務局を通じて法務大臣へ推薦される予定です。

工事請負契約の締結
サテライトオフィス等
新築工事

契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は5324万円、契約の相手方は青木建設(株)です。

◇建物概要

- ・ 木造平屋建て
- ・ ガルバリウム鋼板屋根
- ・ 延べ床面積…約126㎡

- ・ 施設の内容
- ・ 輻射式冷暖房設備…10台
- ・ パッケージエアコン…14台
- ・ 換気システム…4台
- ・ 既設キューピクル改修一式

- ◇施設の構成
- ・ 会議室2部屋
- ・ コワーキングスペース…自由に仕事可能な共用空間
- ・ 個室…3部屋(ワーケーション利用者の要望に対応)
- ・ 大型モニターなどのオンライン会議用備品を整備

教えてゆっくん

人権擁護委員って何？

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱される民間の相談役だよ。差別や虐待、職場・学校での人権侵害など、困っている人に寄り添い、早期の解決や再発防止に努めているのだ。



完成イメージイラスト

議案審議の賛否一覧〔議案20件(4月～6月)〕

議 案	田 山 幸 平	吉 田 精 二	西 靖 邦	遠 坂 道 太	椎 葉 弘 樹	森 山 宏	味 岡 恭	倉 本 豊	山 下 力	金 子 光 喜	審議結果 (賛成：反対)
4月臨時会 議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)
5月臨時会 議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)
6月定例会 議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決(9：0)

○：賛成 ×：反対(今回なし) －：採決なし(議長は採決に加わりません)

一般質問

5人が執行部の考えを質す

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
田山 幸平	①空き家対策と二地域居住の推進	9
味岡 恭	①建築物の指定有形文化財及び登録有形文化財	10
椎葉 弘樹	①潮ため池公園の活用	11
遠坂 道太	①次世代に繋ぐ持続可能な農業	12
西 靖邦	①地域交流と観光振興の拠点整備	13

特別企画 前回一般質問 YouTubeアクセスランキング

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画へのアクセスランキングを公表します。議員のやる気につながりますので、ぜひ動画をご覧ください。

議員	3月一般質問
西 靖邦	682
椎葉 弘樹	99
遠坂 道太	88

(令和7年7月1日時点でのアクセス数)

一般質問の YouTube動画配信

一般質問は、YouTubeで動画配信を行っています。この動画は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。「いいね」や「チャンネル登録」をよろしくお願いします。



© YouTube 動画(「湯前町オフィシャル」で検索)

前回一般質問のYouTubeサムネイル



問 空き家対策と二地域居住の推進

答 制度活用を調査・検討

議員 湯前町では令和6年3月に空家法に基づく「湯前町空家等対策計画」を策定したが、二地域居住や多拠点生活の視点が盛り込まれていない。今後これらの視点を計画に加える考えはあるか。

課長 二地域居住の促進は、移住定住の1つの形態であると考えている。

町長 空き家等対策計画では、移住定住希望の利用者促進も掲げている。二地域居住

なども記載した移住定住の施策として、わかりやすいという点であれば、関係課と協議を行いながら、計画の見直しも含めて検討したい。

議員 町内で運営しているお試し住宅の利用実態やサテライトオフィスの今後の展望について確認したい。また、それらと空き家バンクとの連携による利活用促進の可能性について、町はどう考えているか。

課長 お試し住宅の過去5年間の利用実績は、コロナ過もあり実績はなかった。

サテライトオフィスを利用される方の滞在先として、お試し住宅を活用してもらうとともに、本町で事業展開を検討されている企業に対しては、空き家バンクに登録されている住宅を紹介するなど、連携を今後図っていく。



田山 幸平 議員



質問の様子は
こちら



湯前町お試し住宅

議員 令和6年の広活法改正により新設された「特定居住促進計画」や、空き家等の活用を担う「居住支援法人制度」について、町として活用してはどうか。

課長 県の動きや町の方向性をまずは調査する。

町長 特定居住支援法人の指定は、県の連携も必要。本町において特定居住促進計画の策定や県においては、広域策定計画の中で特定居住に係る重点区域の設定など、さまざまな手続きが必要となる。そのうえで、国の補助金が活用できる制度となっているため、県と連携を図っていきたい。

国が後押しする「二地域居住」とは？

二地域居住とは、都市と地方の2つの地域を行き来しながら暮らす新しいライフスタイルです。国はこの暮らし方を地域活性化の柱と位置づけ、主に以下の制度で支援しています。

議員の

つぶやき

空き家対策もかねて、町にある資源を統合した戦略的な活用を期待します。



都市



二地域居住



地方

プラットフォーム(国交省)

- 自治体・民間・NPOが連携して情報共有・政策研究を行う公式ネットワーク
- 参加自治体は、補助制度や先進事例に基づく戦略的な取り組みが可能

特定居住促進計画制度

- 市町村と都道府県が連携して、空家活用や交通・生活インフラ整備の一体的な計画を策定
- 計画を国に提出すれば、交付金などの支援対象となる。
- ※近隣自治体との連携が鍵

居住支援法人制度

- 空家の掘り起こし、マッチング暮らしのサポートなどを行う民間団体を都道府県が認定。
- 認定団体は国の補助金や支援制度の活用が可能
- 行政だけでは担いきれない移住支援を民間と連携して実現



味岡 恭 議員



質問の様子は
こちら

問 建築物の有形文化財の保存方針

答 文化財保護委員会で協議を進めたい

議員 文化財を保存するため、町の登録制度の条例を制定する考えはないか。

教育長 熊本県および県下の市町村には登録制度はなく、本町においてもこれまで条例制定の協議は行っていない。今後は県下の状況を参考にしながら、文化保護委員会で協議を進めていきたい。

議員 対象の建築物の調査は行っているのか。

課長 歴史的建築物に関する調査としては、平成元年度に寺社、茅葺きの民家を対象

とした湯前町の建築調査を実施している。

建築物は、国指定文化財が2件、県指定の文化財が1件、町指定の文化財が2件、国の登録有形文化財が2件の計7件。

平成27年度から令和5年度にかけて、県の近代和風建築総合調査が実施された。この調査対象となった建築物が68件あり、これらは築後50年以上経過した歴史的な建築物に該当するが、全てが登録文化財の対象ではない。

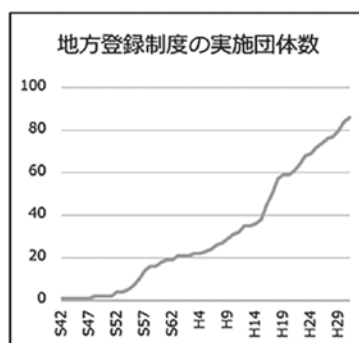
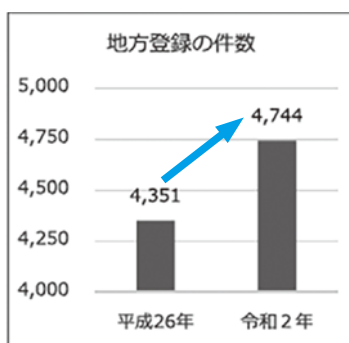


創建から90年たつ市房山神宮 里宮神社

議員 今後、文化財として適正に保存するため、建築物を登録してはどうか。

教育長 これまでの調査結果で価値が明らかになっている歴史的建築物を、指定や登録といった形で文化財として保存していくことは、文化的価値の向上に繋がり有効な手段だと考える。また、指定や登録にならない場合でも、町の貴重な財産として残していく必要がある。

町長 歴史的建築物は、町の貴重な財産であり、保存を急ぐ建築物も含め、どのような方法で保存していくか、文化財保護委員会の中で十分調査・協議を行い、今後も重要な文化財資源・観光資源として活用していきたい。文化財の保存と登録に関して、必要があれば条例の制定も含めて検討していきたい。



議員の

つばき

文化財は町の誇り。保存と活用の両立に期待しています。



議員 椎葉 弘樹



質問の様子は
こちら

問 潮ため池公園の活用

答 文化財指定、施設整備、運用管理に対応する

議員 潮神社を町指定文化財とし、文化・観光資源として活用する考えはないか。

課長 今後は、潮神社の歴史と潮湯温泉のストーリー性を観光資源に繋がればと思っています。文化財指定は、宗教的な面ではなく、歴史的な面に着目したものであれば、政教分離に抵触しないと考える。

教育長 提案内容は、文化財の指定に十分値すると思う。

観光的な取り組みも併せて文化財保護委員会への諮問を進めたい。文化財は、従来の「保護」から「活用」へと価値観が変化している。

町長 ささまざまな調査と文化財保護委員会の意見を踏まえて判断したい。

議員 潮ため池公園を整備し、快適で利用しやすい公園施設にする考えはないか。

課長 公園施設の整備は、行き届いていない。湯楽里を中心としたエリアを観光資源として考えると、整備が必要。

町長 公園は、経年劣化や木柵などの腐食が進んでおり、危険箇所もある。地元区長との協議や湯楽里との現地調査を行い、補助金などの活用も含めて予算措置を行う方向で進めたい。



議員 潮ため池公園の運用管理方法を明確にし、湯楽里や周辺施設との相乗効果で、誘客を促進する考えはないか。

課長 公園の自然環境は、敷地が非常に広く、十分な管理ができていない。

町長 公園管理に関する条例制定は、その他の公園との整合性や利便性などを研究する必要がある。公園の魅力アップを図るには、民間活力の検討も大事。管理エリアの現状を把握し、地元区長や湯楽里など、関係者の意見を伺い、観光資源の魅力アップも十分協議しながら、公園の運用管理に対応しなければならない。

潮神社の歴史的価値



◎球磨絵図(江戸時代)にある神社仏閣

- ①潮神社 ②普門寺 ③御大師堂
- ④八勝寺 ⑤宝陀寺 ⑥浄心寺



◎鵜戸神宮とのつながり
祭神 → 神武天皇の父
お乳岩 → おっぱい神社

◎潮の由来

湯楽里温泉の塩分を含んだ温泉は、太古の海水温泉(化石海水型温泉)



文化財として後世に受け継ぐべき神社

議員の

つづき

潮神社は、歴史的価値が高く、後世に受け継ぐべき神社。潮湯や公園の整備・活用で潮山一帯の魅力を向上してほしい。



遠坂 道太 議員



質問の様子は
こちら

問

次世代につなぐ
持続可能な農業

答

担い手の対策を確実に
進める

議員 今後、町の単独補助事業を見直す考えはあるか。
課長 令和元年度に、湯前町農業振興検討委員会設置条例を制定。関係機関から選出された8名の委員で検討委員会

が設置され、3年ごとに議論して意見をもらい、事業の方向性を決定している。本年度が見直しの年となるため、令和8年から10年度までの3カ年事業を検討する。事業実績、成果などをみながら次期へつなげていく。

議員 農地集積率を上げるため、どのような取り組みを行っているのか。

課長 農業経営基盤強化法に基づき、農地の貸し借りをあつせんする取り組みを進めている。

農業委員会と農地利用最適化推進委員が一体となり、農地パトロールを通じて、農地所有者の意向把握、担い手の育成・確保、遊休農地対策などに取り組んでいる。

今後、農業所得や農地など

を含めた地域での話し合いを継続し、担い手農家へ農地を集めることで、農地の継続的な利用による農業の振興を図り、食料安全保障に寄与することに取り組んでいく必要がある。

議員 担い手対策を上球磨3町村で取り組む考えはないか。

課長 担い手対策は、さまざまな団体などと連携を図り、確実に進めていき、努力をしていく考えである。3町村においては、組織形態や担い手の状況の違い、就農支援制度の格差などがあり、上球磨地域としての協議の場は設けられているが、現時点では具体的な取り組みに至っていない。

町長 各町村で制度の内容や補助金などが違っており、これらを一括して議題にあげるのは非常に難しい部分があるため、慎重に取り組むべきである。協議を行うのであれば、論点を整理するべきである。

今後、集落間の連携や農業

公社のリスタート、農業を基軸とした関係人口の創出、企業の連携など、新規就農者の受け皿となるような整備を多様な視点で取り組み、担い手の対策を確実に進める。

担い手の対策を確実に進める



議員の

つばき

湯前町の農業は、地域計画を基本として、10年後に農地が農地として継続されることを期待する。

問 地域交流と観光振興の 拠点整備に関する町の 基本的な考え

基本的な考え

答 道の駅構想断念・ 物産センター整備は慎重検討

物産センター整備は慎重検討

議員 道の駅に代わる多機能型観光物産センターの整備、またはその他の関連施設の整備方針について町の見解を伺う。

町長 これまで町では、建設水道課・農林振興課・企画観光課を中心に、「道の駅構想」の情報収集と調査を行い、



質問の様子は
こちら

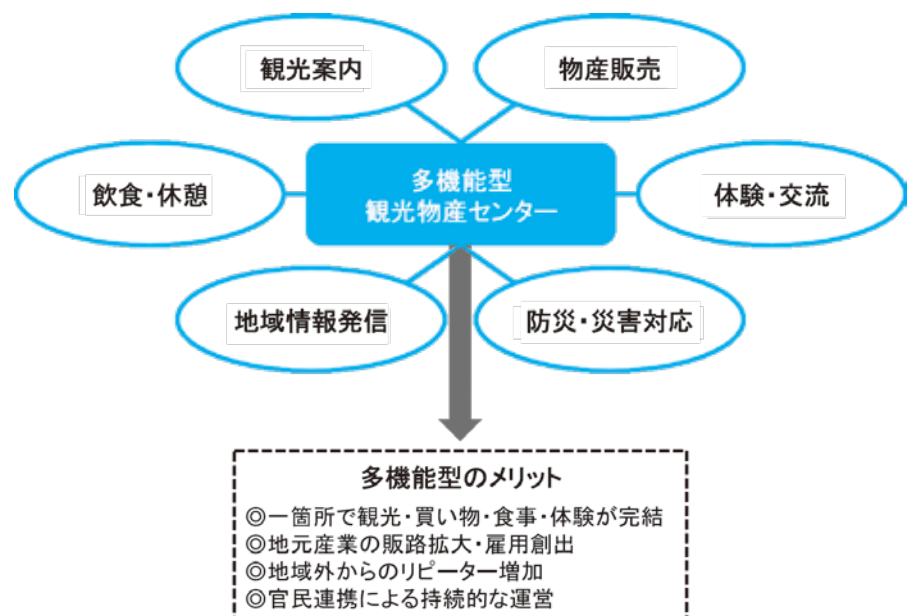


西 靖邦 議員

県内外の整備事例を通して、事業費・運営状況・収支の実態などを把握してきた。その結果、整備費用や維持管理費、運営リスクの大きさなどの課題が明らかとなり、本町における新規整備は困難であるとの見解に至った。

一方で、交流人口や関係人口の創出の観点からは、観光施設の必要性を認識しており湯前駅周辺の再整備を進めながら、湯楽里・まんが美術館・湯々とびあなど、既存施設との連携によって、にぎわいを創出していく方向で取り組んでいく。また、観光物産センター整備の導入も、生産者の高齢化や人材不足といった課題がある中で、慎重に検討す

る必要があると考えている。さらに、子どもから高齢者まで誰もが安心して過ごせる「多世代交流施設」は、子ども情緒を育む上でも、重要性を認識している。ボルドーリングやスケートボードは、本町の規模でどうか、検証が必要である。既存施設の有効活用も含む遊び場や多世代交流の場の充実も併せて検討が必要。駅周辺整備を通じて、広い世代が気軽に交流できる施設を目指し、関係機関との協議も進めて行く。また、財源確保にあたっては、補助率の高い補助金の活用を図るとともに、限られた一般財源の持ち出しを抑えるため、有利な起債の活用による負担の平準化も含め、財源手当の在り方を検討。



議員の

つばき

湯楽里周辺と駅周辺を多機能型観光物産センターとして整備し、地域交流と観光振興を進めていただきたい。

議員派遣

関東地区湯前ふるさと会総会

場 所：主婦会館プラザエフ 東京都千代田区
開催日：令和7年3月29日(土)
出席者：会員32名(総会員数32名)
湯前町5名(議会から森山議員が出席)

研修資料や議員報告書は、議会図書室にありますので、住民の皆さまもご覧いただけます！



関東地区湯前ふるさと会に出席された皆さま

関西地区湯前ふるさと会総会

場 所：ホテル新大阪 大阪市東淀川区
開催日：令和7年5月31日(土)
出席者：会員19名(総会員数30名)
湯前町4名(議会から吉田議員が出席)



関西地区湯前ふるさと会に出席された皆さま

会員募集

ふるさと会は、高齢化などにより会員数が減少しています。
関東・関西にお住まいの方に是非ご紹介いただき、入会をお勧めください。
(お問い合わせ先) 企画観光課 Tel：0966-43-4129
E-mail：kikakukankouka@yunomae.kumamoto.jp

三市町村議会国道整備促進合同協議会

国道219号現地調査

5月7日、宮崎県西都市、西米良村、湯前町の議員など38名が出席して、道路改良、落石防止網、橋梁補修工事などの現場(3工区)を視察調査しました。今回の調査を踏まえて、7月に熊本・宮崎の両県、8月に九州道路整備局を通じて国土交通省への要望活動を行います。

令和6年度の事業実績は、約9億9100万円。令和7年度は、約12億6300万円の事業を計画しています。

調査箇所：西都市古仏所工区、西米良村越野尾工区、湯前町上里工区

調査日：令和7年5月7日(水)

出席者：[西都市] 押川市長、荒川議長、市議会議員5名、建設課職員2名、議会事務局2名
 [西米良村] 上米良議長、村議会議員4名、建設課職員2名、議会事務局2名
 [湯前町] 清藤副町長、金子議長、企画経済建設常任委員会委員4名、建設水道課職員3名、議会事務局2名
 [西都土木事務所] 春田所長、職員4名
 [球磨地域振興局] 上田主幹、職員1名

湯前町上里工区においては、令和6年度に排水路工73m、歩車道境界ブロック工53.2mを実施し、今後は、サンロード湯前店前交差点付近の改良を行います。



西都市役所での打合せ



西都市古仏所工区



西米良村越野尾工区



湯前町上里工区

委員会

総務厚生文教常任委員会

5月12日・6月12日

委員長	遠坂 道太
副委員長	田山 幸平
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

次の所管事務を調査しました。

◎防災備品の現状

◎小学校の情報化に対応する学習環境

備える力が町を守る 町の防災備蓄と家庭の備えの重要性

湯前町では、地震や豪雨などの災害に備えて、防災備蓄品の整備を行っています。避難所では1.5日分の物資を備蓄し、住民の皆さんには最低1日分の持参をお願いしています。乳幼児用ミルクやおかゆ、女性用品、感染症対策品なども備えており、日常的に入れ替える「ローリングストック法」で常に一定量を確保してあります。一番大切なことは、**各個人の防災意識の向上と家庭での備え**が、町全体の安心につながります。



防災備蓄品倉庫の視察



QRコード：内閣府防災情報の特集
「災害の備え、何をしていますか」

教えてゆっくん

ローリングストック法って何？

防災の備えは、しまい込まずに「使いながら補充する」のがコツ。お水やご飯の保存食、使ったらその分を買い足して、いつも新しいものをキープするよ。



小学校のICT学習環境 学校で進むAI活用と表現学習

湯前小学校では、児童1人1台のタブレット端末や電子黒板、Wi-Fi環境など、ICTを活用した学習が進んでいます。令和7年度からはAI学習ドリル「eライブラリ」も導入され、個別最適な学びを支援。熊日新聞社との連携によるデジタル新聞づくりや発表学習も行われ、情報を読み解き、表現する力を育てています。子どもたちの学びを支える環境づくりが着実に進んでいます。

教えてゆっくん

ICTって何？

ICTは「情報通信技術」っていう言葉の略だよ。タブレットやインターネットを使って、調べたり、話し合ったり、わかりやすく学べるしくみのこと。学校だけでなく、会社でなど、いろんなところで活躍しているよ。



企画経済建設常任委員会

5月12日・6月12日

委員長	西 靖邦
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、味岡 恭、椎葉 弘樹

次の所管事務を調査しました。

◎住宅政策(宅地分譲など)

◎レールウイング及びサテライトオフィスの活用

誰もが安心して暮らせるまちへ 住宅政策に関する提言書を策定

2月から4回にわたる調査や協議を行い、住宅政策の提言書を取りまとめました。

※提言書の詳細は、3ページ(特集2)を参照。

駅周辺の新たな交流拠点 レールウイングとサテライトオフィスの活用に向けた調査

湯前駅レールウイング複合施設の再整備工事およびサテライトオフィス新築工事、それぞれの事業概要や進捗状況、今後の活用方針などに関する調査を行いました。また、現地での視察も実施し、施設の整備状況を確認しました。



大屋根新設部土間スラブ下埋め戻し完了



西側付属棟新設部基礎工事施工中



東側スロープ工事完了



大屋根新設部までの東側床改修工事完了

議会の窓

議長の窓

令和7年度町村議会議長・副議長研修会 球磨郡議長会会長就任の報告

5月の球磨郡議長会定例会において議長会の会長を拝命しました。球磨郡管内9町村の中でも一番の若造ですが、その若さで頑張る覚悟です。

そして早速、5月27日東京で開催の令和7年度全国町村議長・副議長研修会に椎葉副議長と共に参加致しました。午後から開催の研修は、阪神淡路大震災から30年ということで、防災に関する講演を3講演受けました。

翌28日は予定されていた県関係国会議員への要望活動が行われました。各郡提出の要望事項18項目のうち、球磨郡議長会からは、「球磨地域公共交通網の整備促進」など4項目を要望しました。国会の会期中にもかかわらず金子恭之先生には議員団の中でも一番詳しく丁寧に説明・対応していただきました。実現に向けた手ごたえを感じました。



衆議院議員：金子恭之先生(下段中央)との集合写真

議会事務局の窓

主な議会スケジュール【7月2日～9月18日】

活動内容	日程(予定)	対応者
西米良村議会との情報交換会	7/2 西米良村	全議員
三市町村議会国道整備促進合同協議会 両県要望活動・総会	7/8～9 宮崎市、熊本市	金子、西、吉田、 椎葉、味岡、倉本
郡議長会	7/14	金子
正副委員長研修会	7/22 (オンライン)	金子、田山、吉田、西、 遠坂、椎葉、倉本、味岡
臨時会	7/23	全議員
上球磨正副議長会	7/28	金子、椎葉
三市町村議会国道整備促進合同協議会 国土交通省等要望活動	8/18～19 福岡市、東京都	金子、西
正副議長研修会	8/20 熊本市	金子、椎葉
議会全員協議会	7/28 8/25	全議員
全国議会広報研修会	8/28～29 東京都	田山、西、椎葉
定例会	9/9～18	全議員

一部事務組合

上球磨消防組合議会

特殊車両を更新 物品売買契約の締結

物品売買契約において、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を更新します。

契約の方法は指名競争入札、契約の金額は8456万円、契約の相手方は「株式会社 田原商会」です。



教えてゆっくん

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車って何？

普通の水槽付消防ポンプ自動車に、災害対応のための特別な機能や装備を加えた車だよ。総務省消防庁が定める「緊急消防援助隊」に登録され、大規模災害が県外で起きたときにも出動できるようになっているよ。つまり、広域的な災害にも対応できる特別仕様の消防車なのだ。

<上球磨消防議員 倉本>

人吉球磨広域行政組合議会

落雷被害による設備復旧 令和7年度一般会計補正予算

3月27日に人吉球磨クリーンプラザ周辺において落雷があり、その影響で設備が壊れました。その復旧に係る費用など、3900万円を追加しました。

議会構成を一部変更 相良村議会議員の4月改選

4月20日(日)に行われた「相良村議会議員一般選挙」により、議会構成に変更がありました。

役 職	選挙区	氏 名
調査特別委員会委員	相良村	川邊 一徳 議員
調査特別委員会委員	相良村	古川 渉 議員
議会運営委員会委員 ※委員8名中、欠員(1名)を補充	錦 町	吉田 眞二 議員

<広域行政議員 遠坂・田山>

年4回にわたりテーマを設定し、住民の皆さまからご意見をいただきます。



議会活性化特別委員会 委員長挨拶

住宅政策に関する 提言にあたって



議会活性化特別
委員会委員長
吉田 精二

議会活性化特別委員会では、町民と行政をつなぐ場として、信頼され、参加しやすい議会となるよう、今後も改革を進めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



企画経済建設
常任委員会委員長
西 靖邦

町の未来を見据え、誰もが安心して暮らせる住環境づくりが必要です。分譲地や公営住宅、住宅情報の整備など、現実に即した提言を行いました。今後も町民の声を反映しながら、住み続けたい町づくりに取り組んでまいります。

「住民の声」のインタビューをお願いされたときは、ご協力をお願いします。Tel 0966-43-4132

『議員・風刺や時代を読む』

漫画作品と議会のコラボ企画

この企画は、湯前町が取り組むマンガのまちづくりを、議会も積極的に応援する取り組みです。風刺漫画や時代を描写した風景画は、地方議会と密接に関わっており、政治の問題や社会の動きを批評的かつ啓発的に表現する重要な手法です。



『オブザーバー』 杉本 昭義 氏



『少子化』 森本 修 氏

令和6年度まんが大賞応募作品から

▶ 左側は、年配の学識経験者らしきメンバーが少子化対策を議論している中に、オブザーバーとして子だくさんのカエルの家族が同席しています。

▶ 右側は、保育園でお遊戯するのに子供が一人しかいないので、保育士や大人と一緒に遊んでいます。

▶ どちらの作品も、少子高齢化の現状をみごとに風刺したニヤリとさせられる作品です。

▶ 那須画伯が亡くなった今も、その時々々の有様を一枚の絵で描き上げる才能ある人たちが日本各地で活躍しているのは、「まんがのまち湯前」として大変喜ばしいことですね。

(吉田)



◆ 広報常任委員会

私たちが編集しました。

委員長 田山 幸平
副委員長 椎葉 弘樹

委員 遠坂 道太
吉田 精二
西 靖邦

湯前町議会

検索

湯前町議会のホームページもご覧ください。

